

うじたわら

議会だより

No. 99
2019.5.1



《目次》

定例会	2p~7p
表決結果	8p
一般質問	9p~18p
インタビュー(中山幸季さん)	19p
住民と議会の懇談会	20p~21p

=ピカピカの1年生=
これからはじまる小学校
べんきょうに あそびに
がんばるぞ

ハートあふれるまち 新時代に向かって 躍進する大型予算

まちづくり戦略の総仕上げの年

健やかに安心して暮らせるまち

情報伝達システム整備事業 8,509万円
健康増進計画等策定事業 162万円

活気にあふれる交流のまち

「ハートのまち」
移住定住プロモーション事業 286万円
ふるさと納税推進事業 2,499万円
お茶の京都交流拠点整備推進事業 735万円

子育てと学びを応援するまち

保育充実事業 1億2,158万円
寺子屋「うじたわら学び塾」運営事業 141万円
小中学校校内ネットワーク運営事業 2,226万円

便利で快適に過ごせるまち

新市街地都市公園整備事業 2億7,100万円
空家等総合対策事業 612万円

持続可能な財政運営を

新庁舎建設事業・新市街地周辺道路整備事業などの増加により町政施行以来、最高額 62 億 500 万円の予算

可決

平成31年第1回定例会は、3月4日から28日まで開催した。予算関係11件（補正予算5件、当初予算6件）、条例関係1件（改正）、一般議案2件、人事案件2件が提出され、すべて原案通り可決・同意した。一般質問には9人の議員がたち、活発な議論を展開した。

会計別の予算

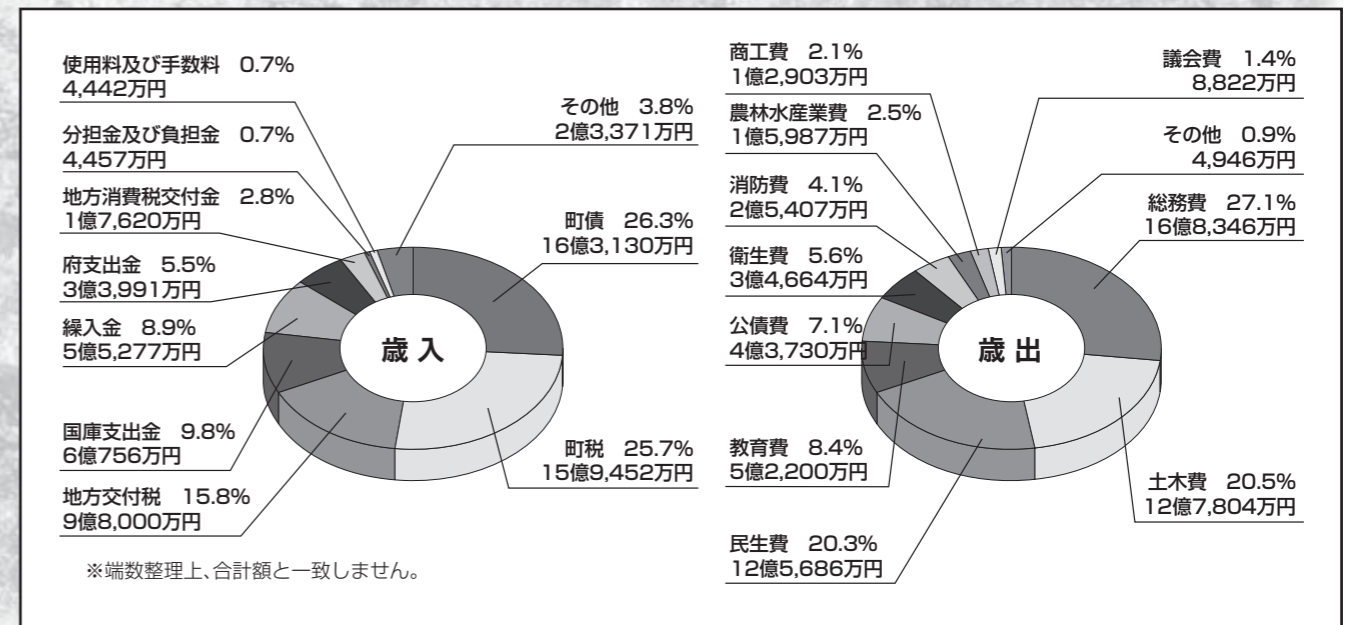
(千円以下切捨て)

会計名	予算額	前年比 (%)
一般会計	62億 500万円	16.2
国民健康保険特別会計	10億 989万円	△ 0.4
後期高齢者医療特別会計	1億 1,560万円	4.2
介護保険特別会計	7億 8,242万円	△ 2.8
水道事業会計	5億 6,830万円	17.3
下水道事業会計※	10億 2,090万円	-
総額	97億 9,122万円	14.7

※平成31年4月1日から地方公営企業法の適用により公共下水道事業特別会計から移行

一般会計

(千円以下切捨て)



定例会

定例会

予算特別委員会では、委員長に藤本英樹議員、副委員長に垣内秋弘議員を新たに選任し、平成31年度当初予算及び平成30年度補正予算に関する審査を行った。

当初予算

総括質疑

○(馬場哉委員) 財政運営について、財政シミュレーションから判断すると財政状況は非常に厳しいと思うが大丈夫なのか。

○ 将来のための大型事業に取り組んでおり、持続可能な財政運営を職員一丸となってスクラップ&ビルドなどにより、財政状況の改善にも取り組んでいきたい。

○(谷口整委員) 施設型給付事業について、昨年6月議会において制度上の不均衡な状況を是正するため、府が国に対し問題提起を行うよう、強く要望をする旨の

付帯意見を付けた。町は、国・府に対し、制度設計の見直しを求めているが、近隣市町も含んだ要望などで、働きかけをさらに強めるべきでは。

○ 地域の実情に応じた支援を国に働きかけるとともに、京都府においても必要な支援や助言を行うよう町村会にも要望している。また、本町としての実情を京都府知事、副知事及び保健福祉部長に対し説明を行っている。

一般会計

○ 自立的な市町村の未来づくりを推進するために、市町村が戦略的、主体的に行う自立的なプロジェクトを支援する京都府の交付金制度であり、

○ 自立的な市町村の未来づくりを推進するために、市町村が戦略的、主体的に行う自立的なプロジェクトを支援する京都府の交付金制度であり、

交付の対象事業費から特定財源を控除した額の概ね2分の1となり、当初予算では3,900万円計上している。

○ 第5次まちづくり総合計画改定事業について、人口1万人をめざすとしてきたが、子どもの減少による小中一貫教育施設一体型の取り組みなど整合性がとれない。現実をとらえ、下方修正が必要では。

○ まちづくりは上を向いていくべきと考えており、新名神の開通、山手線の一部事業化、新市街地の整備、また城陽市には新都市としてアウトレット等もでき、雇用の場も生まれる中で、ベッタタウン的なまちのイメージも考えられる。今回の計画見直しでは、現実的にどのくらいが適当

なのか検討していく。

○ 月1ウォークチャレンジ8800事業について、講師を招いた講習を行うとのことであるが、今年度の宇治田原ウォークは好評であったこともあり、イベント的なウォーク事業実施の考えは。

○ 今年度実施のイベントできつかけづくりを行い、定着へつなげていきたい。継続してウォークをする住民を増やし、今

後イベント的な実施に向けて研究していきたい。

○ 有害鳥獣対策事業について、追い払い事業プラスワンはどのように取り組むのか。

○ これまで緊急雇用対策として対応してきたが、次年度からは雇用対策ではなく、追い払い隊とともにモンキードッグと一緒に回ってもらうなど工夫を凝らして、プラスワンの有害鳥獣対策に取り組んでいく。



町内私立幼稚園

○ 総合文化センター駐車場用地借上料が減額されている理由は。

○ 開設以来、借地として20数年経過したが、地権者と交渉を行い買収することとなった。また、買収については土地開発基金で対応する。

○ 土地開発基金の活用とは。

○ あらかじめ積み立てた資金によって公共用地を取得するものであり、基金の額は9千万円とするよう条例で定めている。

幼稚園教育振興事業の拡充(私立幼稚園入園補助事業)について、委員間で活発な議論を展開し、次のようにまとめた。

○ 幼稚園教育振興事業の拡充については、幼稚園教育の振興を行うとともに保育所の飽和状態を解消することになると思う。町内私立幼稚園については、過去から様々な支援をして来たにもかかわらず、ピーク時には66名在籍していた園児が11名にまで減少したことについて、幼稚園事業者の経営努力が必要と考え

○ 町内外を問わず5万円の入園補助は認められるが、町内幼稚園に対するさらなる上乗せ分については、町当局と幼稚園、文教厚生常任委員会と町内私立幼稚園との意見交換会を開催し、経営努力を求める中、出された意見を尊重し予算を執行すること。

議案第6号 平成31年度一般会計予算に対する修正案 「6,205,000千円」を「4,819,513千円」に改める。
【提案理由】新庁舎建設に係る予算とそれに関する道路整備、都市公園整備事業費などの予算を削減するもの。
(提出者 今西久美子委員)

一般会計当初案について、修正案が提出されたが、賛成少数により否決。

国保会計

○ 健康意識啓発事業について、過去の未受診者への訪問勧奨を拡充しているが、訪問等の働きかけによって意識改革はあったのか。

○ 保健指導の対象とならない健診結果がグレーゾーンの方に看護師が戸別訪問を行い、リーフレットを配付するなど生活習慣の改善、健康意識啓発を図っている。

介護保険会計

○ 「元気はつらつ若返り塾」や「おやじエクササイズ」、「元気アップ教室」について、参加されていない方の掘り起しをどう考えているのか。

○ 一般介護予防事業については、保健師が「おたっしや訪問」等を行う



健康意識啓発リーフレット

中で参加いただけるよう勧誘している。

水道事業会計

○ 湯屋谷配水管更新事業の更新箇所は。

○ 漏水の多かった中谷地域や塩谷地域から考えているが、区・地域の方と協議、調整する中で、計画的、継続的に取

○ 遠方監視装置改良事業について、土砂崩れや電柱が倒れるなど災害を考えた場合の無線化は検討されたのか。

○ 以前に無線化を検討した経緯はあるが、いろんな制限があり、事業着手に至らなかった経過がある。



現地審査(末山・くつわ池)

一般会計予算(議案第6号)

反対討論

今西久美子議員

来年度も、新庁舎建設、都市公園整備等の大型予算となった。普通建設事業費は前年比1.5倍の約20億5千万円、町債は2倍以上の16億円、地方債の実質残高は40億円を超えるが、財政調整基金は3億7000万円となる。これでは、将来の財政負担への禍根を残す。この上、まだ使える小学校がありながら、新しい小学校を建てるなど無駄であり、再検討を求める。安倍政権のもと、住民の暮らしや営業はきびしい。町が、住民の命と暮らしを守り、地方自治体本来の役割を発揮することを求める。

反対討論

後期高齢者医療特別会計予算(議案第8号) 山本精議員

75歳以上の高齢者を年齢で区切る医療制度が発足して11年が経過した。発足前に、厚労省幹部が医療費が際限なく上がり続ける痛みを、後期高齢者に感じ取っていたと語った。高齢者に犠牲を強いる制度は速やかに廃止すべき。

平成30年度補正予算

一般会計

○ 森林適正整備推進事業補助金、ふるさとの森林整備推進事業が大幅な減額となった理由は、

○ 民有林の切り捨て間伐として当初40haの要望をしていたが、補助金内示が減額となったものがある。

○ 台風等で山が荒れている中、深刻な問題であり、引き続き現状を訴えていくことが重要であると思うが。

○ 次年度も京都府への要望を同数程度計上し、新たな要望活動も考えていく。

○ 大福茶園再造成事業の進捗は。

○ 以前見込んだとおり1年の遅れとなる予定。

○ 繰越明許費補正について、新庁舎建設事業のような大型事業や12月で補正された事業の繰り越しは理解できる。しかし、単年度予算主義の考え方から、町道新設改良事業など当初予算で計上されている事業の繰り越しは理解し難い。理由は、

介護保険特別会計

○ 京都府知事及び保健福祉部長に対し町単独要望を行なうと同時に、町村会を通じても要望している。

○ 災害復旧事業については、災害査定や設計等に時間を要したことによる。町道新設改良事業については、災害等の事業に重点を置いたことにより遅れが生じた。今後しっかりと事務事業を遂行していく。

○ 施設型給付事業について、6月補正予算の際に制度上の不均衡な状況を是正するため、京都府が国に対し制度の問題提起を行うよう、付帯意見を付けたが、その後は、



認知症カフェ

○ 介護サービス給付費が大きく減額されており、サービスの受けたい方が、何らかの理由で控えているのでは。

○ 認定者数の微減に加え、運動機能の向上を図るための介護予防事業を実施し、元気な高齢者の方も増えているものと考えている。

賛成討論

浅田晃弘議員

平成31年度一般会計当初予算は、宇治田原山手線及び関連道路、新庁舎の建設、新市街地都市公園の整備など、将来の本町まじづくりの根幹をなす事業を、具体的かつ積極的に推進するとともに、合わせて人口減少の克服と地域創生の着実な推進を図るため「新時代に向かって躍進する宇治田原予算」ハートあふれるまちを指して」と題して積極的に計上され、対前年度比16.2%増の積極型予算を編成されたことを高く評価する。

反対討論

水道事業会計予算(議案第10号) 山本精議員

今年10月からの消費税増税にともない、国の言のいなりに増税分を水道料金に転嫁するということが、実質住民負担が増えることになり、反対である。

人事案件

人権擁護委員の推薦同意

潮見博 司氏 (郷之口)



矢野登代子氏 (南)



任期 令和元年7月1日～ 令和3年6月30日

総務建設常任委員会

水道事業の設置等に関する条例の一部改正 (議案第12号)

○ 下水道事業特別会計を公営企業会計とするため、水道事業の設置等に関する条例他18本の条例の一部を改正するもの。

○ 下水道会計を公営企業会計にしなければならぬのは必須なのか。

○ 総務省から、平成35年度までに地方公営企業法の適用を行うよう通達があり、人口3万人以上の都市については義務化とされている。

反対討論

今西久美子議員

水道事業の設置等に関する条例の一部改正(議案第12号) 公営企業会計は独立採算制であり、一般会計からの繰り入れが制限されれば、使用料の値上げにつながる。一般財源を自治体の裁量で繰り入れられる特別会計方式を継続し、住民の暮らしを守る立場に立つべき。

○ 新年度の指定管理料の内訳は。

○ 概算では、報酬220万円、光熱水費120万円、通信費15万円、備品消耗品費70万円、修繕費10万円、清掃・浄化槽の点検等50万円、合計で490万円となっている。

和解及び損害賠償の額の決定 (議案第14号)

○ 公用車の事故に伴い、損害賠償の額が決定したことから議会の議決を求めるもの。

○ 年に1〜2度は公用車事故の報告を受けるが、事故を起こした職員

に対する指導はどうなっているのか。

○ 日頃から交通安全への周知徹底を図っており、町長を先頭に部長会、管理職会議、年末年始の訓示等でも周知している。起こった事故に対しては、本人から事情聴取する中、厳しく注意している。住民の見本となるべく、今後も交通安全に努めていく。

○ 「自分の車ではない」という意識があるのではないか。公用車を自分の車と思って大事に乗るといった指導も必要では。

○ 町の公用車、建物いざれも住民の財産であると常日頃から言っている。車をきれいにといった指導とともに、交通安全については引き続き周知徹底していく。



お茶の京都交流拠点施設 「宗円交遊庵やんたん」

一般質問

ズバリ! 町政を問う

3月7日～8日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

質問者	質問事項
1 松本健治 (10p)	1. 子どもの読書活動の推進及び図書館活動の充実について
	2. 平成31年度の施政方針(政治姿勢)について
	3. 行政からの情報発信について
2 藤本英樹 (11p)	1. 自転車の安全対策について 2. 通学の安全について
3 今西久美子 (12p)	1. 農業振興について 2. 小中学校施設一体型について ●教職員の働き方改革について

●印の質問情報は本紙には掲載されていません。

質問者	質問事項
4 垣内秋弘 (13p)	1. 町長の政治姿勢について
	2. 地域創生総合戦略について
	3. 新市街地の開発について
	4. 英語教育について
5 山内実貴子 (14p)	1. 子育て施策について 2. 防災減災対策について
6 谷口重和 (15p)	1. 大型施設の誘致について 2. 移住定住について
7 山本 精 (16p)	1. 子育て支援について 2. 防災対策について
8 浅田晃弘 (17p)	1. 安心安全なまちづくりについて 2. 地域の生活環境の維持について
9 馬場 哉 (18p)	1. 財政シミュレーションについて 2. 新たな自主財源確保について

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	山本	今西	垣内	田中	原田	馬場	松本	谷口重	浅田	藤本
人事	議案第15号	人権擁護委員候補者の推薦について(潮見博司氏・矢野登代子氏の再推薦)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第16号															
平成30年度補正予算	議案第1号	一般会計補正予算(第5号)(各種事業の決算見込みなど)【3,843万9千円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)(補助金、拠出金の確定など)【955万4千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	介護保険特別会計補正予算(第3号)(保険給付費の決算見込みなど)【保険3,600万8千円減額、サービス336万円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)(各種事業の決算見込みなど)【1,463万円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第5号	水道事業会計補正予算(第2号)(各種事業の決算見込みなど)【収益的収入121万7千円追加 支出577万円減額】 【資本的収入1,009万4千円追加 支出97万3千円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度当初予算	議案第6号	一般会計【62億500万円 前年対比 16.2%増】	✓	✓	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	国民健康保険特別会計(事業勘定)【10億9,898万3千円 前年対比 0.4%減】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号	後期高齢者医療特別会計【1億1,560万8千円 前年対比 4.2%増】		✓	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	介護保険特別会計【7億8,242万9千円 前年対比 2.8%減】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	水道事業会計【5億6,830万2千円 前年対比 17.3%増】		✓	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第11号	下水道事業会計【10億2,090万1千円 特別会計→公営企業会計】			可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	宇治田原町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(地方公営企業法及び施行令の適用による条例の一部改正)		✓	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第13号	指定管理者の指定について(宇治田原町お茶の京都交流拠点施設)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	和解及び損害賠償の額の決定について(公用車事故に伴う和解及び損害賠償の額について、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎谷口整議長は賛否同数以外は表決に加わりません

子ども達の読書活動の推進を

【答】推進計画を実りあるものにする



松本 健治
議員

【質問】 子ども達の読書を取り巻く社会環境・実態を思うと憂慮すべきところがある。読書活動の推進計画は。

【答弁(学校教育課長)】 図書館や図書室は子ども達の豊かな心を育む場であり、学習活動を支援する場である。様々な取り組みを調査研究しながら「推進計画」を実りあるものになりたい。

【質問】 図書館活動が低迷して



ワクワク感のある魅力的な図書館に

いる。各自治体の図書館でも利用拡大に向けた様々な取り組みが実施されている。本町でも充実に向けた研究を。

【答弁(教育部長)】 図書館活動の充実に向け、各種の方策について検討を重ね、先進事例等の調査研究に努める。

【答】今なすべき未来への大胆な投資

【質問】

平成31年度予算は過去最大規模となった。施政方針におけるアピールポイントとは。

【答弁(町長)】 ハード事業における未来への投資で、三本柱に掲げる新庁舎建設など、新市街地整備や新都市ゾーンにおける都市機能

の牽引をはじめ、新名神開通のインパクトを活用した都市基盤整備の視点において、何より重要な今なすべき未来への大胆な投資である。

一方歳出規模が大きくなり、財政状況は厳しくなるが、新たな自主財源の確保を図るなど、持続可能な財政運営に努める。

情報発信は鮮度やタイムリーさを 【答】ホームページの充実に取り組む

【質問】

【答弁(総務部長)】

行政から発信する情報は今や町内外から、観光や移住定住でのホームページ閲覧も多く、もつと鮮度やタイムリーさを大切にすべきでは。

ホームページは有効なツールであり、全国の方々が閲覧される。さらに掲載内容の充実に取り組む。今後各課で再度掲載済みのページを見直し、新鮮さと適時性の管理に努める。



ホームページなどの情報発信には新鮮さを

自転車保険の加入啓発を

【答】京都府と連携し啓発していく



藤本 英樹
議員

【質問】 宇治田原小学校29名、田原小学校31名の合計60名の新生児が新たに各小学校へ入学されるが、新1年生への交通安全対策の現状は。

【答弁(学校教育課長)】 田辺署交通課による安全教室や、入学当初は教

職員が一緒に下校し、交差ルールを指導するなど対策を行なっている。

【質問】 中学生の通学方法の割合は。

【答弁(学校教育課長)】 自転車87・4%、徒歩11・8%、スクールバス0・8%の割合である。

【質問】

自転車は法律上の車両であり、事故を起こした場合、損害賠償義務が発生することから、平成30年4月より自転車保険の加入が義務化された。本町における中学生や町内企業に勤務されている外国人労働者、小学生の加入率は。

【答弁(総務課長)】 全国における自転車事故の増加、高額賠償事例が相次いでおり、本町としても春と秋に全国交通安全運動を実施し、啓発に努めている。今後についても京都府と連携し、保険加入の促進に努めていく。

あった。

【質問】

予想していた以上に加入率が高く、交通事故に対する安全意識が高いことに驚いたが、義務化された自転車保険の加入促進方法は。

【答弁(総務課長)】 小中一貫教育を施設一体型とし、維新館中学校付近に建設した場合の通学方法は。

【答弁(学校教育課長)】 学識者、保護者、住民代表の方々と検討委員会を設置し、児童生徒が安心して、保護者も安心できる方法を検討する。

施設一体型の通学方法は

【答】検討会議を設けて検討

【質問】

【質問】

町営バスとコミュニティバスの相違点は。

【答弁(建設環境課長)】 コミュニティバスは奥山田区、湯屋谷区が主体となり、スクールバスと併用で町が財政支援しており、町営バスは町が主体で運営している事業である。



京都府の自転車保険加入啓発のチラシ
(http://www.pref.kyoto.jp.kotsuanzen/)

【答弁(総務課長)】 中学生の加入率は67・9%であるが、それ以外の住民の加入率は把握できていない。京都府が実施した府民アンケートでは70・5%の加入率で



奥山田、湯屋谷区が運行しているコミュニティバス

猪・鹿対策にフェンス設置を

【答】平成32年度から設置に取り組み

【質問】猪や鹿による野菜や水稲への被害が後を絶たず、農家は苦慮している。対応策は。

【答弁(産業観光課長)】等の耐用年数が経過する猪や鹿による野菜や水稲への被害が後を絶たず、農家は苦慮している。対応策は。平成32年度を目途に、圃場単位での金網柵設置による侵入防止対策を図っていききたい。

【質問】

【答弁(産業観光課長)】有害鳥獣対策については、これまで以上にしっかりと取り組む。電気柵費用対効果を算出することとしているが、耐用年



フェンスで囲まれた圃場(京田辺市)

施設一体型で課題が解決するのか

【答】さらなる解決に努める

【質問】数が過ぎた場所については、来年4月から設置できるように万全の準備を。

【答弁(産業観光課長)】本町の特徴を生かした方法を築き上げ、効果を上げていく。現在の取り組みと町の地域力でさらなる解決につながるよう努める。

【質問】

【答弁(学校教育課長)】教育委員会は、本町の子どもたちの課題として①家庭の教育力低下②生きる力やがんばる力等の低下③自己肯定感や向上心の減退④協調性が育ちにくい⑤学力向上の不足の5点をあげたが、学校施設一体型で解決するのか。

【答弁(学校教育課長)】教職員が一丸となり、境と言えるのか。

【質問】

【答弁(学校教育課長)】施設一体型の場合、小学生用のグラウンドや体育館、プールなどは予算化されていない。現状よりも、より望ましい教育環境と言えるのか。



今西久美子 議員



地域から小学校をなくしていいのか

「新市街地内の山手線」早期着工を

【答】京都府と十分連携しながら進める

【質問】南地域から新市街地までの山手線880mは、府が事業主体で進められているが、新市街地内の540mは町施工予定区間であり、スケジュールを示し早急に着工すべき。併せて残り区間も府

【答弁(町長)】に強力に要請を。道路詳細設計を終えており、工事を仮に平成33年度に実施すると、平成32年度中に用地取得に取り組む必要がある。京都府と十分連携しながら進める。



垣内秋弘 議員

「地域創生総合戦略」成果と課題は

【答】まちづくり戦略を積極的に推進

【質問】平成27年から取り組んでいる地域創生総合戦略も5年間の最終年を迎えるが、現状での成果と課題は。

【答弁(企画財政課長)】「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、様々な取り組みを進めてきた。人口増が顕著に表れるまでには至っていないが、移住・定住の取り組みを国の制度を活用して進める。

新市街地開発で地域の課題解決を

【答】河川整備を更に強く府に要望する

【質問】新市街地は新庁舎を皮切りに企業誘致が進展するが、開発に見合った周

【答弁(企画財政課長)】辺の環境整備と河川整備が必須条件である。調整池から糠塚川への放流経路、水量に適合した側溝

学習指導要領改訂で英語教科化は

【答】教材開発や指導法の工夫に努める

【質問】2020年度から新学習指導要領が全面実施され、英語教育が必修化、教科化されるが、教職員の体制と準備状況、他の教科への影響は。

【答弁(学校教育課長)】新学習指導要領の内容を加えた年間指導計画を作成し、文科省の教材を基本に各担当教員が協議し教材開発や指導法の工夫に努める。



開発に伴う治水経路(6の1号線)

の規模等、具体的内容は。【答弁(建設事業部長)】開発に伴う治水対策は重要な課題と認識している。現時点では、調整池の容量や放流量、放流経路や規模等の協議を実施中。河川に負荷をかけないように府に対して改修の必要性を訴えていく。

【答弁(学校教育課長)】協議し、議会でも議論を深めていただいた。私のトップダウンで決定したのではない。【質問】大事なことは住民が決めるべき。各地区を回って説明会を開催し、住民投票で決定を。【答弁(町長)】住民それぞれにいろいろな考え方があり、住民投票という多数決による決定の方法はなじまないと考える。



新市街地内「山手線」予定地

子育て世代への今後の取り組みは

【答】ネウボラの仕組みづくりを推進



山内実貴子
議員

【質問】
児童虐待の要因の1つとされる親の孤立や産後うつに対応するため、妊娠から出産、育児まで切れ目なくサポートする子育て世代包括支援センターの役割は大きい。

子育て世代を孤立させない今後の取り組みは。【答弁(健康児童課長)】産前産後のサポート充実をめざし、産後のお母さんの休息のために一時保育事業の活用や育児パッケージの配布、就学



情報いっぱい 地域子育て支援センター

【質問】
最近スマートフォンなどで情報を利用する方が多い傾向と聞く。これからの子育て情報の発信についての考えは。

【答弁(健康児童課長)】
京都府の子育てアプリ「まもっぷ」への積極的な情報掲載と利用促進や、ニーズの把握、ス

住宅用火災警報器設置の推進を 【答】更新も含め、継続して啓発する

【答弁(総務課長)】

【質問】
2006年6月の改正消防法で新築住宅に、5年後までに既存住宅にも火災警報器の設置が義務付けられたが、電池切れや期限切れを迎える時期となる。火災早期発見の決め手となる警報器の更新対策と更なる推進を。

住宅用火災警報器は設置後10年を目安に取り換えが必要とされている。火災発生による逃げ遅れの防止、また、被害を最小限におさめるため、消防分署と連携し、火災警報器の交換の広報等を積極的に実施していきたい。



住宅用火災警報器の設置啓発を

宇治田原町に大型施設を

【答】先頭に立ち、取り組む



谷口重和
議員

【質問】
本町に自衛隊大久保駐屯地の誘致を提唱する。大久保駐屯地は、中部方面体隷下であり、各部隊は施設作業支援や災害派遣を任務として、国際貢

献活動や民生協力をも行う。駐屯地が本町に来ればメリットがさがる多々望まれ、よきパートナーになるのは間違いなく、山手線の完成、鉄軌道計画も夢ではなくな

ヘリポートの誘致を



【質問】
交通手段は、近年中には空からの物流配送になる。空飛ぶ車も4、5年先には受注が始まるそうである。空の町宇治田原



移住定住へ
(お試し住宅)



移住定住は人情、愛情を持って 【答】お試し住宅一軒を着実に運営する

【質問】

【答弁(副町長)】

移住定住対策として、空き家がお試し住宅にリフォームされた。多くの人を移住定住に導くためにも、人情、愛情を持って取り組み、打つ手を2段階、3段階と用意する必要があります。

今年度開設するお試し住宅1軒を着実に運営する中で、他地域の住民の皆様の協力を得ながら、本町への移住定住希望者がより多くの地域生活を体験できるよう、引き続きその手法を考えていく。

高校生まで、医療費支援の拡充を

【答】今後協議していく事項と認識



山本 精 議員

【質問】 本町では現在、出生から中学卒業までの子供の医療費を助成している。高校卒業までの拡充に

ついては、「住民と議会

の懇談会」での意見の取りまとめとして、議会よ

り町長へ文書をもらっている。

【質問】 今年9月から、京都府が制度を拡充する。町の負担はいくら減るか。また現在高校生

の医療費合計は、年800万円程度と

【質問】 高齢者や乳幼児にはインフルエンザ予防接種に町からの補助がある。小中学校では、毎年インフルエンザによる学級閉鎖が起きている。予防接種は子どもの場合2回打つ必要があり、負担も1回3、4千円と高額なものになる。小中学生にも助成を。

【質問】

【答弁(健康福祉部長)】

「住民と議会の懇談会」で出された意見として、取りまとめた項目に記載されており、今後協議する事項と認識しているが、現状の医療費の町の負担は150万円減ることとなる。また、現在の高校生の医療費合計は、年800万円程度と



住民と議会の懇談会 ワールドカフェ

【答弁(副町長)】 「住民と議会の懇談会」で出された意見として、取りまとめた項目に記載されており、今後協議する事項と認識しているが、現状の医療費の町の負担は150万円減ることとなる。また、現在の高校生の医療費合計は、年800万円程度と

【答弁(健康福祉部長)】 感染拡大を防ぐため、広報紙等で周知しており、費用助成対象者の拡充は検討していない。

【答弁(健康福祉部長)】

【答弁(健康福祉部長)】 感染拡大を防ぐため、広報紙等で周知しており、費用助成対象者の拡充は検討していない。

湯屋谷中谷地区の防災対策は

【答】災害時避難路調査費を計上



浅田 晃弘 議員

【質問】 湯屋谷地区は、そのほか、雨量計の設置をしてはどうか。

【答弁(町長)】

自主防災会や消防団が地域の雨量を確認できること、防災意識の高揚につながることを期待できるとしている。

【質問】

【答弁(町長)】 湯屋谷中谷地域は、土石流による危険性が特に高い。万が一、陸の孤島の状態となった場合の連絡路、避難路の確保をすることが必要と考える。平成27年第1回定例会で「中谷横断連絡道路の早期実現に向かって努力

【質問】

中谷地域堰堤工事



【質問】

【答弁(町長)】

【答弁(町長)】 中谷地域については、あらゆる災害から命を守るため、緊急避難路の必要性については、大変重要であると認識している。平成31年度予算に、調査検討するための災害時避難路調査費を計上している。

【答弁(副町長)】

【答弁(副町長)】 日本人住民と外国人住

民間と災害時施設利用の提携を

【答】現時点では考えていない

【質問】

【答弁(総務課長)】

【質問】 地震や集中豪雨、台風による住宅や樹木の被害などが大きく広がっている。一時避難場所である各地区の公民館は多くが浸水想定区域や、土砂災害警戒区域内にある。一時避難場所に避難できない可能性も考えて、他の民間の施設に対して、災害時施設利用の提携をすすめる考えは。

【答弁(総務課長)】

一時避難場所については、指定緊急避難場所へ向かうまでのあくまでも一時的に避難する集合場所として位置づけている。危険が予想される場合には、一時避難場所ではなく、町指定の避難場所を広報している。現時点では民間の施設等との提携は考えていない。



一時避難場所の各公民館

外国人住民との良好な共生を

【答】多文化共生の方法を議論していく

【質問】

【答弁(副町長)】

【質問】 4月から「改正入管法」が施行される。外国人の就労が拡大され本町においても、今まで以上に外国人の流入が予想され、地域住民の不安が増してきている。地域の不安、課題に対して、行政として具体的な施策を早期に実施することが必要ではないか。

【答弁(副町長)】

【答弁(副町長)】 日本人住民と外国人住



外国人向けチラシ

chico 硝子意匠

なか やま こう き
中山 幸季 さん

昨年4月に、埼玉県から宇治田原町郷之口の空き家に移住され、8月に「chico 硝子意匠」を起業された中山幸季さんにインタビューしました。



Q. どんなお仕事をされているのですか。

A. ガラス工芸の材料の販売や、作家のガラス工芸作品を販売する「キュレーター」のような仕事をしています。

Q. 宇治田原町に来られたきっかけは。

A. 私の実家が奈良県の生駒市で、妻の実家が宇治市なので、ちょうど中間地点となる場所で空き家を探していました。仕事の関係で、ある程度の広さも必要でしたので、宇治田原町は即、有力候補となりました。

Q. 宇治田原町の印象は。

A. 大満足しています。よく不便だと言われますが、名古屋まで3時間、神戸や大阪にも行きやすく、車さえあれば、私はとても便利のいい場所だと思っています。ご近所の方々も親切で、学校も近く子育て環境もとてもいいです。



Q. 宇治田原町に今後期待することは。

A. 流通の部分で活性化ができればもっと発展し、人口も増えると思います。この便利の良さを活かさないともったいない。

Q. 今後の抱負は。

A. 日本には、ガラス工芸で有名なイタリアのベネチアよりも素晴らしい作品をつくる作家がたくさんいます。低迷しているガラス産業がスムーズに循環するようにしていきたい。そして、ガラスの器(作品)に宇治田原町のお茶を添えて販売するなど、地域の産業とも接点が持てれば良いと思っています。



ガラス工芸作品



役場の跡地はどうするのか

クラウドファンディングの活用は「答」「うじたわらいく」の連携を研究

【質問】
インターネットを経由して、地域に貢献したいと思う人からの寄付を募るものが「ふるさと納税」である。自分自身が関わってまちを良くしようとする、故郷を想う心の醸成を図るために「宇治田原らしい特色のある教育プログラムの実施」を目的とするクラウド

ファンディングを、日本各地にお住いの本町出身の小中学校卒業生の方々に情報発信し、資金を応援していただくのはどうか。
【答弁(総務部長)】
学校施設の整備に対する寄附募集が馴染むものかどうかを含め「うじたわらいく」によるシティプロモーションとの連携が可能かどうか、今後研究していきたい。

財政シミュレーションの見直しは

【答】様々な場面で示すことが重要



馬場 哉 議員

【質問】
庁舎跡地活用について、29年3月議会で「公有財産の処分だけでなく活用を考えていきたい」との答弁があった。庁舎建設事業費に、耐震不足である現庁舎の撤去費用は含まれているが、跡地活用の費用等が、財政シミュ

レーションに織り込まれていないのではないか。
【答弁(企画財政課長)】
庁舎は、現状のまま活用することは困難。跡地活用についても協議を行っているが、いまだ決まっていない。庁舎跡地活用や小学校教育跡地活用に係る費用について、も、現在の財政シミュレーションには見込んでいない。
【質問】
跡地活用の決定が遅れている。早急に方針を決定すべき。様々な選択肢があり、それぞれにおいて財政シミュレーションを議会や住民に示して広



石碑に刻字されている維孝の由来

ワールドカフェ方式での懇談会 和やかに 多くの意見交換が



懇談会(ワールドカフェ)でのご意見(抜粋)

項目	意見(要望)
子育てについて	<ul style="list-style-type: none"> 育児用品購入費助成は、母子手帳交付時に詳細説明を 出産後の諸手続きに、チェックリストの作成を 支援センターの開催情報を事前にわかりやすく公開を
教育について	<ul style="list-style-type: none"> 保育所と幼稚園が一緒になった「こども園」があれば 宇治田原検定も学校で実施すると「地域愛」がより生まれる 「夏の学校」などのイベントもっと周知徹底を
医療について	<ul style="list-style-type: none"> 小児科などの医院で、サテライト診療所が町内にあれば インフルエンザの予防接種の助成を中学卒業まで 子育て支援医療(医療費の無償化)を高校生まで拡大を
公園、観光施設について	<ul style="list-style-type: none"> ボール遊びや凧揚げができる大きな公園を 安全な広い芝生がある遊び場を 田原川に遊びに来やすいよう周囲整備を IC近くに道の駅を設置し、産品販売と隣に公園を
交通機関について	<ul style="list-style-type: none"> 交通網が貧弱で、高校生の通学に不便 緑苑坂には町営バスもコミュニティバスも来ない。路線バスは子育て世代や高齢者には負担となる



今回のテーマは 「子育て」にやさしいまちづくり



本町議会では「議会基本条例」に基づき、各種の「議会改革」に取り組んでいます。その一環として昨年から「住民と議会の懇談会」を開催し、住民の皆さんと議会の距離感を縮める取り組みを行っています。

今回は2月11日(月・祝)に総合文化センターにおいて、テーマ『子育て』にやさしいまちづくり』と題して、「報告」と「懇談会」の二部構成で開催しました。

当日は「子育て」世代を対象に、保育所保護者をはじめとした各団体や公募も含め、16名の方にご参加いただきました。

「住民と議会の懇談会」 ワールドカフェ方式を導入

第1部

議会での子育てに関する取り組みについての報告

〈先進地の視察研修〉

「子育てするなら南箕輪村で」

…長野県南箕輪村など

〈意見交換会〉

小・中学校の校長先生など

〈住民の皆さんの願い実現へ〉

・高校生の通学バス代の全額補助

・地域子育て支援センターの拡充

・一時保育の新施設完成

・田原学童保育の新施設完成

など。

第2部

懇談会(ワールドカフェ方式)

懇談会は、ワークシヨップ(ワールドカフェ方式)によるもので、参加者全員が気軽に積極的に発言され、子育てに関する多くのご意見がありました。

懇談会でのご意見や、参加者アンケート結果については、左記の通りとなっております。アンケートでは概ね同世代の皆さんが共通する課題であり、比較的高い評価でありました。

今後の議会では

議会では、「住民と議会の懇談会」実施後の対応として、皆さんのご意見を町政に反映するため、既に書面にて西谷町長に説明・報告しました。

さらに総務建設および文教厚生常任委員会において、それぞれ当該部局に対しても説明し、今後両常任委員会の場で、対応策等について協議を進めます。

おおよそ6月定例会を目前に、それぞれのご意見について、方向性を導き出していく予定です。

なお毎年「懇談会」のテーマや参加対象者等の検討を行いながら、より充実した取り組みとなるように努めてまいります。



2019/02/11 16:10

「住民と議会の懇談会」のアンケート(抜粋) (当日出席者16人+傍聴者2人)

1. 懇談会の満足度について

	良い	←	普通	→	悪い
	5	4	3	2	1
男性	1	2			
女性	8	5			
計	9	7			

2. 『議会だより』について

	毎回読んでいます	時々読んでいます	ほとんど読んでいません
男性	2	1	
女性	6	6	1
計	8	7	1

3. ご意見がございましたら(抜粋)

《住民と議会の懇談会について》

- ・他のテーマでも同じような懇談会を開催してほしい。
- ・回数や参加者を増やし、より多くの意見を聴いてもらいたい。
- ・知らない者同士の話し合いは大事だと感じた。
- ・もっと時間をかけて突っ込んで話し合いたかった。
- ・議員と話す機会がなかなか無いので、こういう場があって良かった。
- ・保育ルームがあり子どもを預かって貰えるのが良かった。
- ・普段できない事を話したり、聞けたりできたのが良かった。
- ・定期的に開いてほしい。
- ・普段は触れ合う機会がない方たちと話ができて良かった。

《議会活動全般について》

- ・開かれた親しみやすい議会であってほしい。
- ・「宇治田原らしさ」の議会を、これからも追求してほしい。
- ・今回話し合った意見を取り入れてもらいたい。
- ・町民の意見を聴く姿勢がありがたい。
- ・町民一人ひとりが住みよい町にしていきたい。

《その他の意見》

- ・宇治田原の素晴らしい自然を生かし、子どもたちが楽しく暮らし、楽しく子育てできるような町になればいいと思う。



一般国道 307 号線奥山田バイパス開通式



桜満開のやすらぎの道



奥山田バイパス開通式での維孝館中学校吹奏楽部



荒木ふれあいサロン

次回議会の予定
〈6月定例会〉
6月6日(木)開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします。

編集後記

新緑が目立つ季節となり、本町では田植えもはじまりました。引き続き茶摘みさんの姿も目立ちはじめ、宇治田原新茶の生産で活気があふれます。

2月11日には、「住民と議会の懇談会」を開催し、参加者のみなさまから出された意見を議会として取りまとめ、町政に反映できるように取り組んでまいります。

3月定例会は、過去最大規模となる平成31年度当初予算をはじめ、全て議案が可決されました。「議会だより」は、みなさまに親しまれる紙面をめざしています。ご意見・ご感想をお寄せください。

広報編集副委員長 山本